

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和 5年 6月 27日

千葉県知事 熊谷 俊人 殿

提出者

住 所 千葉県香取市北2丁目6番3

氏 名 石井工業株式会社

代表取締役 石井 良典

電話番号 0478-55-1512

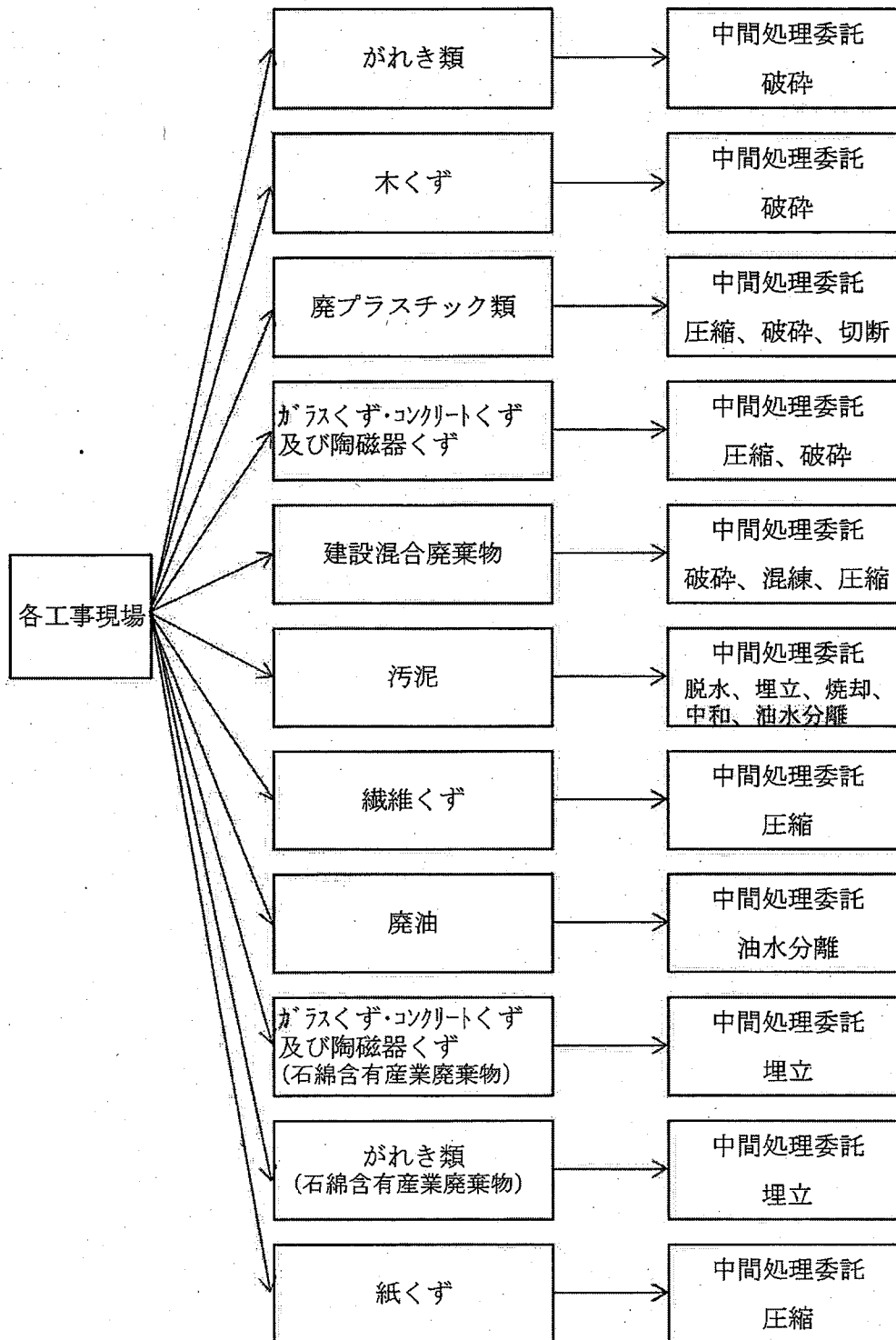
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	石井工業株式会社
事業場の所在地	千葉県香取市北2丁目6番3
計画期間	令和 5年 4月 1日から令和 6年 3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	大分類 : 建設業 中分類 : 総合工事業 小分類 : 一般土木建築工事業
② 事業の規模	前年度の元請完成工事高 3698百万円
③ 従業員数	75人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙のとおり

(日本工業規格

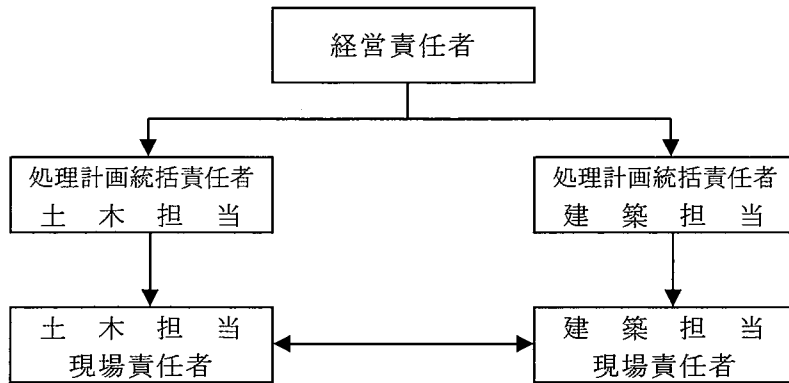


④産業廃棄物の一連の処理の工程



産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（ 4 年度）実績】		その他別紙のとおり
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	排 出 量	2,939.72 t	609.17 t
	(これまでに実施した取組) 公共工事に関する工事が主である為、各発注機関の仕様書等に従い、適切に産業廃棄物の排出を行っている。 各現場においての分別・軽減化の指導（職員・協力業者共）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	排 出 量	2,000.00 t	500.00 t
	(今後実施する予定の取組) 工事においては、構造物等を造るにあたり、どうしても必要数量+αの材料を注文することになる。この+αには実際使用せず産業廃棄物として排出する物も出てきてしまう。この余分な材料をできるだけ少なくする為に、過去のデータ・実際の現場の状態等を考慮し産業廃棄物の排出を最小限に抑えるよう取り組んでいく。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) がれき類、木くず： 各現場において、産業廃棄物の種類毎に集積場所を設け、産業廃棄物用のコンテナを備え付け、分別を行っている。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) がれき、木くず： 特に新しい計画はなし。今まで通りの分別を行う。

別紙

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項					
① 現状	【前年度（ 4 年度）実績】				
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	建設混合廃棄物	繊維くず
	排出量	28.14 t	29.10 t	169.39 t	16.32 t
	(これまでに実施した取組) 各現場において、産業廃棄物の種類毎に集積場所を設けたり、産業廃棄物用のコンテナを備え付け、分別を行っている。				
②計画	【目標】				
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	建設混合廃棄物	繊維くず
	排出量	20.00 t	20.00 t	100.00 t	10.00 t
	(今後実施する予定の取組) 特に新しい計画はなし。今まで通りの分別を行う。				

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

	① 現状	【前年度（ 4 年度）実績】				
		産業廃棄物の種類	汚 泥	廃 油	ガラスくず・コンクリートくず 及び陶磁器くず（石綿 含有産業廃棄物）	がれき類（石綿含有 産業廃棄物）
		排出量	119.90 t	0.00 t	1.00 t	17.85 t
		（これまでに実施した取組） 各現場において、産業廃棄物の種類毎に集積場所を設けたり、産業廃棄物用のコンテナを備え付け、分別を行っている。				
	②計画	【目標】				
		産業廃棄物の種類	汚 泥	廃 油	ガラスくず・コンクリートくず 及び陶磁器くず（石綿 含有産業廃棄物）	がれき類（石綿含有 産業廃棄物）
		排出量	100.00 t	0.00 t	0.00 t	10.00 t
		（今後実施する予定の取組） 特に新しい計画はなし。今まで通りの分別を行う。				

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

	② 現状	【前年度（ 4 年度）実績】				
		産業廃棄物の種類	紙くず			
		排出量	1.20 t			
		(これまでに実施した取組) 各現場において、産業廃棄物の種類毎に集積場所を設けたり、産業廃棄物用のコンテナを備え付け、分別を行っている。				
	② 計画	【目標】				
		産業廃棄物の種類	紙くず			
		排出量	0.00 t			
		(今後実施する予定の取組) 特に新しい計画はなし。今まで通りの分別を行う。				

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（ 4 年度）実績】 その他別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	全処理委託量	2,939.72 t	609.17 t
	優良認定処理業者への処理委託量	10.20 t	158.52 t
	再生利用業者への処理委託量	2,939.72 t	609.17 t
	認定熱回収業者への処理委託量	—	—
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 公共工事に関する工事が主である為、各発注機関の仕様書に従い、許可を受けた運搬業者及び処理業者と産業廃棄物処理委託契約書を締結し、紙マニフェスト方式により管理し適切に委託をおこなっている。民間工事においても同様に委託契約書を締結し、紙マニフェスト方式により管理している。		

②計画	【目標】	その他別紙のとおり	
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	全処理委託量	2,000,00 t	500.00 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	0 t	0 t
	再生利用業者への 処理委託量	2,000,00 t	500.00 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 特に新しい計画はなし。 今まで通りの委託処分を行う。		
※事務処理欄			

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（ 4 年度）実績】				
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	ガラスくず・コンクリートくず 及び陶磁器くず	建設混合廃棄物	繊維くず
	全処理委託量	28.14 t	29.10 t	169.39 t	16.32 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	23.45 t	22.20 t	169.12 t	16.32 t
	再生利用業者への 処理委託量	28.14 t	29.10 t	169.39 t	16.32 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t
	<p>(これまでに実施した取組)</p> <p>公共工事に関する工事では、各発注機関の仕様書に従い許可を受けた運搬業者及び処理業者と産業廃棄物処理委託契約書を締結し、紙マニフェスト方式により管理し適切に委託をおこなっている。民間工事においても同様に委託契約書を締結し、紙マニフェスト方式により管理している。</p>				

②計画	【目標】				
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	ガラスくず・コンクリートくず 及び陶磁器くず	建設混合廃棄物	繊維くず
	全処理委託量	20.00 t	20.00 t	100.00 t	10.00 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	20.00 t	20.00 t	100.00 t	10.00 t
	再生利用業者への 処理委託量	20.00 t	20.00 t	100.00 t	10.00 t
	認定熱回収業者への処 理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t
	<p>(今後実施する予定の取組)</p> <p>特に新しい計画はなし。 今まで通りの委託処分を行う。</p>				

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（ 4 年度）実績】				
	産業廃棄物の種類	汚 泥	廃 油	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず（石綿含有産業廃棄物）	がれき類（石綿含有産業廃棄物）
	全処理委託量	119.90 t	0 t	1.00 t	17.85 t
	優良認定処理業者への処理委託量	7.70 t	0 t	1.00 t	17.85 t
	再生利用業者への処理委託量	119.90 t	0 t	1.00 t	17.85 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t
	<p>（これまでに実施した取組）</p> <p>公共工事に関する工事では、各発注機関の仕様書に従い許可を受けた運搬業者及び処理業者と産業廃棄物処理委託契約書を締結し、紙マニフェスト方式により管理し適切に委託をおこなっている。民間工事においても同様に委託契約書を締結し、紙マニフェスト方式により管理している。</p>				

②計画	【目標】				
	産業廃棄物の種類	汚 泥	廃 油	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず(石綿含有産業廃棄物)	がれき類(石綿含有産業廃棄物)
	全処理委託量	100.00 t	0 t	0 t	10.00 t
	優良認定処理業者への処理委託量	100.00 t	0 t	0 t	10.00 t
	再生利用業者への処理委託量	100.00 t	0 t	0 t	10.00 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 特に新しい計画はなし。 今まで通りの委託処分を行う。				

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

② 現状	【前年度（ 4 年度）実績】			
	産業廃棄物の種類	紙くず		
	全処理委託量	1.2 t		
	優良認定処理業者への 処理委託量	1.2 t		
	再生利用業者への 処理委託量	1.2 t		
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t		
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t		
	<p>(これまでに実施した取組)</p> <p>公共工事に関する工事では、各発注機関の仕様書に従い許可を受けた運搬業者及び処理業者と産業廃棄物処理委託契約書を締結し、紙マニフェスト方式により管理し適切に委託をおこなっている。民間工事においても同様に委託契約書を締結し、紙マニフェスト方式により管理している。</p>			

②計画	【目標】				
	産業廃棄物の種類	紙くず			
	全処理委託量	0 t			
	優良認定処理業者への 処理委託量	0 t			
	再生利用業者への 処理委託量	0 t			
	認定熱回収業者への処 理委託量	0 t			
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t			
	<p>(今後実施する予定の取組)</p> <p>特に新しい計画はなし。 今まで通りの委託処分を行う。</p>				

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。